

令和6年度 研究構想図

学校教育目標

『高くかかげよ』
～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

研究主題

『カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造』
～プロジェクト型学習の地域展開と学習評価を明確にした課題発見・解決学習の開発～

研究仮説

コアカリキュラムを核としたカリキュラム・マネジメントを意識し、プロジェクト学習の地域展開、学習評価を明確にした課題発見・解決学習を行うことで、生徒一人一人の学びが主体的なものとなり、資質・能力をより良く高めることができるのではないか。

本校で育成を目指す資質・能力

主体性
(自己との関わり)
→好奇心と課題発見力, 自尊心

コミュニケーション能力
(他者・社会との関わり)
→読解力と対話力

日比中スタイルを活用した
探究学習

各教科

道徳教育
(道徳の時間)

特別活動
(学活, 学校行)

特別活動
(コアカリキュラム)

研究内容① コアカリキュラム, 全教科・領域が互いに絡んだ課題設定

単元を貫く問い

中心発問

議題の充実

単元を貫く問い

研究内容② 各教科の見方・考え方と「そもそも」を活かした話し合い活動とねりあい活動

話し合い活動

話し合い活動

話し合い活動

話し合い活動

研究内容③ 本質的な問いを活かした単元開発

本質的な問い

本質的な問い

本質的な問い

本質的な問い

各教科・領域の土台となる言語活動

- ・知的活動（論理や思考）及びコミュニケーションや感性、情緒を育成する活動
- ・各教科で培った言語に関する能力
- ・生徒発表の場（自己表現）
- ・各教科の見方、考え方を生かして
- ・読書活動、ビブリオバトル

学校評価 重点目標

- (1) 感動と涙と歌声と笑顔あふれる卒業証書授与式（年間通して「達成感」と「あこがれ感」の醸造、歌声のリポーン）
- (2) 主体的な学びを促す授業づくり（課題発見・解決学習）の更なる深化
 - ①カリ・マネを通した使える学力の育成
 - ②教科の見方・考え方を活かした話し合い活動とねりあい活動定
 - ③本質的な問いを活かした単元開発
 - ④学習評価と指導の一体化
- (3) 生徒の心に寄り添う生徒指導と進路指導（指導の入る人間関係・ケース会議・アセス、生徒の主体性的成長のサポート）
- (4) 特別活動の推進（「そもそも」を活かした話し合い活動・「成長の見える化」・学級集団づくりの共有化）
- (5) カリマネを活用した社会に開かれた教育課程（地域と共につくるプロジェクト型学習・コミュニティスクールの活用）
- (6) 「考える道徳」の充実
（道徳以外の全教育活動で道徳価値に出会わせ、道徳の時間ではその道徳的価値に気づかせ、考えさせる）
- (7) 地域と創る学校「コミュニティスクールの実働」・小中連携・広報活動

